

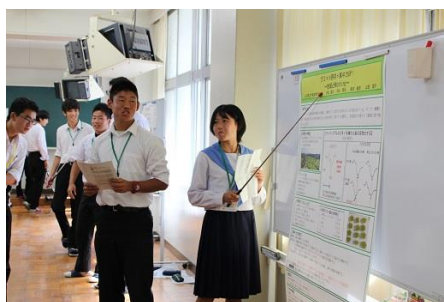
人文社会科学科・自然科学科の研究について中間報告、初開催！

平成30年9月19日（水）午後、人文社会科学科、自然科学科（探究科2年）は、SSH及びSGH運営指導委員と山口大学工学部の研究指導教官や大学関係者等をお招きして、中間報告会を開催しました。コモンホールをメイン会場に、開会行事後、本校20班と徳山高校1班がフラッシュトークとポスターセッションを行いました。また、本校探究科1年生80人と徳山高校理数科1年生40人、教職員と保護者の皆さんも参加しました。探究科ができて初めての開催となりましたが、ポスターセッションにおいて活発な意見交換がなされ、盛況でした。

閉会行事では、山口東京理科大学名誉教授の戸嶋先生から本校課題研究の良いところや論理的な考え方の必要性のお話、山口大学経済学部の山下先生からは人文系研究についての講評をいただきました。報告会終了後、徳山高校と探究科の1年生は「研究活動に必要なこととは何か」のテーマでグループディスカッション、発表を行い、交流を深めました。



フラッシュトーク



ポスターセッション（多目的教室）



ポスターセッション（多目的ホール）



ポスターセッション（コモンホール）



徳山高校との交流会（ディスカッション）



徳山高校との交流会（発表）

2年生の感想より

- ・ みんなの意見が本当に熱く交わされていて、発表しながら「今、とてもいい環境で自分の意見を言えている」と心から思えた。1年生でも鋭い意見をくれて、参考になった。
- ・ 多くの人に興味をもってもらえ、肯定的な意見ももらうことができたが、それはあくまで「期待」込みのものなので、今後の活動が大事だと感じた。
- ・ 難しい質問を受けたり、説明がなかなか伝わらなかったりして、少し心が折れそうになったけど、回数を重ねるにつれ、慣れてこなすこともできたし、アドバイスに感謝することができた。
- ・ 徳山高校のポスターは内容も面白くて、発表の仕方も上手かったので、まねしたいと思った。
- ・ 「面白い」「素晴らしい」とほめてもらったのは嬉しかったし、これからも頑張ろうと思った。
- ・ グループのみんなで研究していくことが大事なのだと痛感した。

1年生の感想より

- ・ どの班も質問されたらすぐに具体的なことを答えてくれて、本当に一生懸命研究しているのが伝わってきた。でも、内容はよくても声が聞こえないと台無しになるから、声の大きさに気をつけようと思った。
- ・ 研究内容を理解してなければ、スラスラと分かりやすく説明することができなと感じた。
- ・ どの班もハキハキと発表していて、とても聞き取りやすかった。また、指示棒や手を使って、今どの説明をしているのかを示してくれたり、強弱をつけてくれたりして、お手本にしたいと思った。
- ・ 先行研究を参考にしているものも多く、ゼロから自分たちで考えなくても元からあるものを発展させてもいいんだなと思った。

	研究タイトル一覧	
1	宮沢賢治の人と文学 ～「銀河鉄道の夜」をめぐる～	人文社会科学系
2	食品ロス削減プロジェクト in 宇部高校	
3	ひま時間ゼロの観光ルート作り ～もっと山口楽しまん？～	
4	スマホトラブルを減らそう ～適切な気持ちを表現できる LINE スタンプづくり～	
5	日本と韓国に架け橋をかけよう ～日韓関係の改善に向けた提案～	
6	おいでませ、山口の高校へ ～ふるさと高校留学制度の実現に向けて～	
7	選んで巡って YAMAGUCHI 四季の旅 ～外国人観光客を増やすために～	
8	グローバルな時代を生き抜く英語力 ～日本人の英語に対する不安解消のために～	
9	結晶成長についての研究	
10	校内の土壌動物の多様性の調査と季節変動	
11	栄養100点間食開発 ～腹ぺこ宇部高生のために～	
12	夢で日本を元気に	
13	グミ×小野茶=集中力UP! ～地域と MATCHING～	
14	グライダーによる長距離飛行	
15	見えないものを見えやすくしよう	
16	子育て世代と身体障害者の世帯が快適に暮らせる集合住宅	
17	金属の種類と金属の表面で作られる水素負イオンの関連性について	
18	超！地域密着リスクマップを作成しよう！	
19	不可視の世界	
20	化学反応の見える化 ～レントゲン感板を作ろう～	徳山 高校
21	Deep Learning を用いた校内自動運転カー実現のための画像認識システムの開発	